オリンピック競技を目指せ！「パンポン」

日立製作所発祥のスポーツ「パンポン」。皆さんご存じですか？ここ数年、メディアでも取り上げられて話題になりつつあるスポーツです。そこで「パンポン」の魅力を少しでも知ってもらいたく、ご紹介します！

◆「パンポン」の競技とその歴史

パンポンは、テニスと卓球をミックスしたような、手軽に楽しめるスポーツ競技です。その発祥はなんと大正時代の日立製作所（茨城県）までさかのぼります。

1921年頃、日立製作所の工場では休み時間の息抜きとしてキャッチボールが流行っていました。ただ、窓ガラスを割ることが多く、工場内でのキャッチボールは禁止されてしまいました。そこで当時の従業員達は道路に線を引き、みかんの空き箱で作ったお手製の木の板を使ってゴムボールを打ち合いだし…それがパンポンの始まりです！

そして、木の板でゴムボールを打ち合うと「パンと打って、ポンと弾む」ことから「パンポン」と呼ばれたのは1929年。当時の工場長だった高尾直三郎さんが名付け親で、「オリンピックの競技になるまでパンポンを大きくしたい」と夢を語っていたそうです。

この頃正式なルールが決まりました。横2.5m、縦7mのコートを、高さ40cmの木製「ネット」で2つに分けて、木製ラケットで軟式テニスボールを打ち合います。3セットマッチで、1セット4ポイント先取したら勝利。基本種目は、シングルス、ダブルス、混合ダブルスの3種類です。

◆パンポン3大大会の紹介

現在パンポンは、年間で大きく3つの大会があります。

① 「高尾杯」茨城県にある日立製作所の事業所（工場）対抗戦です。
パンポン大会の中では、一番レベルの高い大会です。事業所（工場）の中で選抜された代表選手が一同に会し、己の技術、戦術を競います。1965年に第1回が行われ、2026年には第70回を迎えます。

② 「日立グループパンポン大会」日立製作所の全国の事業所（工場、現在は、関係会社も含まれます。）の職場代表が競う大会です。
各事業所の職場対抗戦を勝抜いたチームが一同に会します。1963年に第1回が行われ、2025年に第58回大会が開催されました。本大会は、前夜祭も行われており、全国の日立グループのパンポン仲間と交流できる大会です。

③ 「日立市パンポン大会」茨城県日立市で開催されます。
上記２つは、日立グループの社員大会ですが、こちらは「日立市内外を問わず、パンポンを愛好する者」が参加できます。全国各地から多くの愛好者が集まり、本大会は団体戦以外にシングルス、ダブルス、

大歓声の中、白熱した試合が展開されていた模様

パンポンラケットとコート

混合ダブルスの個人戦が行われます。しかも、パンポン個人戦の世界チャンピオンが決まるユニークな大会です。1980年に第1回が行われ2025年に第46回大会が開催されました。

那珂地区ハイテク会パンポン大会

第69回「高尾杯」
事業所代表のパンポンの精鋭達が集まります

◆日立ハイテク那珂事業所でのパンポン活動

ここからは、私たち日立ハイテク那珂事業所でのパンポン活動を紹介します。パンポン部の部員数は30名弱。毎週日曜日午後の練習に励みながら、「高尾杯」「日立グループパンポン大会」「日立市パンポン大会」の3大大会年間グランドスラムを目指して頑張っています。

そして、2019年に開催された茨城国体（現:国スポ）では、デモンストレーションスポーツとしてパンポンが行われました。個人戦のシングルス、ダブルス種目ではなんと！国体優勝者を輩出。団体戦でも見事3位に入賞しました。ところでパンポン部は、なぜか宴会好きな面々が集まってきます。そのため大会終了後や年末年始、暑気払いなどなど何かと理由を付けては宴を開いて楽しく活動しています。

また、部員以外に多くの従業員も親しんでいます。日立ハイテク那珂事業所は、現在多数のサイトに分かれています。各サイトでは昼休みが始まると、昼食を済ませた従業員たちが道路に白線で引かれたパンポンコートに集合して、気持ちよく汗を流しています。

さらに、日立ハイテク那珂事業所内でも年に1度パンポン大会が開催されています。以前は、何日間もかけて昼休みに大会が行われていました。しかし、現在は、サイトが多数に分かれていて行えません。そこで3年前から地域にある、しおかぜみなと体育館（茨城県ひたちなか市）を終日貸し切りにして「那珂地区ハイテク会パンポン大会」が開催されています。休日のイベントにも関わらず、毎年参加者が増える一大イベントになっていて、今年度は185名も集まりました。午前中は、従業員の家族や友人参加も OK な「エンジョイリーグ」（個人戦）。午後からは各職場の代表選手が意地とプライドをかけた職場対抗戦「チャレンジリーグ」（団体戦）が実施されています。

そして、本年度は、ひたちなか市内の中高校生で活動している「ひたちなかリーダーズクラブ」のスポーツイベントでパンポンが選ばれ講師の依頼も！ 中高校生に教えて交流を深めました。パンポンが地域貢献としても活躍中です。

◆最後に…今後の意気込み

さていかがでしょうか？ パンポンは、簡単に始められて、見てもやっても愉快なスポーツです。試合も1セット4ポイントなのであっという間に終わります。1ポイントを争う緊張感は、メジャースポーツさながらです。誰もが手軽に楽しく、熱くプレーできることで、大正時代から100年以上もの間、愛されてきたスポーツだと思っています。

そして、パンポンの名付け親である高尾工場長の想い「オリンピックの競技になるまで大きくしたい」は愛好者全ての夢かもしれません。これからもパンポンの普及に尽力し、日々プレーしていきます！

（株式会社日立ハイテク
那珂地区ハイテク会パンポン部部長
品質保証本部　バイオ分析システム品質保証部
大村（おおむら） 有香（ゆか）
代表幹事　品質保証本部 医用システム品質保証部
辻井（つじい） 治之（はるゆき）
部員　評価システム製品本部　新製品開発センタ
小野（おの） 統矢（とうや））

従業員のリフレッシュに欠かせません！

それぞれ自慢のマイラケットを携えて♪

今日も全国の事業所内の昼休みにはパンポンの音が響きます